

はやしまや

林マヤさん

の

うちエコ!スタイル

見て見て!

ルンルン気分で あたたか オシャレ♡

使えなくなったからといって捨てる、
というのではなく、アイデアで
リメイクするのがとても楽しい。



リメイクグッズを見て 参考にしてもらって エコに通じたらいい。

●はやし・まや タレント パリコレクションをはじめ、数々のファッションショーで活躍する。1990年代、JAZZに魅せられ、英語とフランス語の World Pop Musicのアルバム『MAYA』(ミディ・レコード)でデビュー。その後、タレントとしてテレビやラジオ、雑誌などで活動をおこなう。2005年には地球環境のために『マイ箸を持ち歩く会』を結成。

1980年代にファッションモデルとしてデビュー。パリで世界的に有名なカメラマンのピーター・リンドバーグ氏と出会い、日本人で初めてフランス版『マリークレール』誌に出演するなど、ファッションリーダーとして活躍してきた林マヤさん。日頃から“オシャレをすることが、エコに繋がればいいなあ”と考えているという。具体的には？

「たとえば、オシャレをするために、時間を見つけて街を歩くんです！」

とマヤさん。クルマを使わないで、自分の脚でいろんなショップを巡って1日で1万歩以上は歩いている。新宿周辺ならばデパートを5～6軒は

訪れて、ウインドウショッピングを楽しんでいるのだとか。

「クルマに乗らないのでエコだし、ファッションの情報やレストランのメニューも参考になるでしょ。体もぼかぼかして温かいからこれもエコ。しかも脂肪が燃焼されるからナイスボディになれるの。するとオシャレに洋服を着こなすことができるから、またファッションチェックをしたくなって歩くというか(笑)」

使えなくなった生地を使って、
新しいモノに再生させる楽しみ。

そのときにいつも携帯するバッグは、なんと自作したエコバッグ。

じつはマヤさんは、余った布の切れ端などを捨てずに取っておいて、クッションや箸入れ、洋服などさまざまなリメイクグッズを作っている。そして、そうしたグッズを身につけていることってオシャレだし、(他人に)見せる楽しみが増えて参考にももらえるし、エコにも繋がっていくのではないかと。

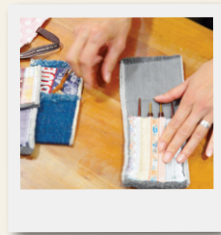
「見て見て！」と大きな手提げ袋から笑顔でマヤさんが取り出したのは、どれもがとっても可愛らしくセンスに溢れたものばかりだ。

「このエコバッグは手拭いで作ったんですよ。自宅には頂き物の手拭いがたくさんあって布巾の代わりに使って

いるんですが、端っこが汚れてしまったりとか破けてしまったものを再利用して。手拭いの柄ってキレイでカワイイのが多いじゃないですか！ちょっと傷んでしまったからといって捨てられないんです」

そちらのマイ箸入れも手作りですか？ そういえば林マヤさんは、『マイ箸を持ち歩く会』を結成していると伺いましたが。

「最初は自宅で使うお箸を買いに行っただけです。そうしたらお店のご主人がこの組み立て式のお箸を見せてくださって。“こんなの『マイ箸』にしてみんな持ってくれたらエコのために



しくて。そうしたらダーリン(ご主人)が“ジーンズのポケットに入れられるケースがあったら可愛い”と言ったんです。それからは、初めて訪れるお店でも、ケースから箸を取りしてスタッフに見せると、手作りケースや箸が組み立て式なのに驚いてくれてコミュ

も地球のためにもいいんだよね”と言われてたんです。どうしてエコのためにいいのか理由を聞いたら、“日本は割り箸文化という清潔でいい伝統があるけど、間伐材を材料にするだけでなく、わざわざ割り箸を作るためにアジアの山の森林が伐採されてなくなっているんだよね”って。そのことにすごいショックを受けてしまったんです」

会を結成したのはいつまでも世界中の山々が元気でいて欲しくて、『マイ箸』を持つ行為が友達にも広がればいいなあという願いからだった。

「でも、初めはお店で出すのが恥ずか

ニケーションツールになって。箸がお店との“架け橋(箸)”になるっていうか(笑)」

出掛けるときはスマートに見せるためにストッキングを重ね着するけど、つま先をカットして靴下を履けば足が蒸れない。また自宅でも、ときにはキャンドルの灯りで過ごす雰囲気もいい、などほかにもさまざまな工夫をしているというマヤさん。素敵なオシャレエコを楽しんでいる。

リメイクグッズでお出掛けするとルンルン気分になれるという。こんなに素敵なデザインなら当然ですね！



▲とても余り物の生地で作ったとは思えない自作のエコバッグ。



クッションはカーテンや靴下の生地を縫い合わせて作った。「椅子と背中の間に挟むと、冷気を防ぐことができ、温かいんですよ。」



パリコレ時代に使っていたという扇子。リボンを貼り合わせるだけで、これもまたオシャレな一品に早変わりしてしまうのだ。

オススメ



ダーリンのひと言からヒントを得て作ったというマイ箸入れ。なるほど、これならお店でも自慢したくなるというもの。



手拭いからこんなに素敵なエコバッグが作れる。ストラップを長めにすることで肩に掛けることができ、両手が自由になる。